

# 情報C

『メディアリテラシー・ビデオ撮影』

- 『絵コンテ』をもとに、準備をする
- 撮影の許可を取る
  - 場所
  - 被写体となる人物の場合は肖像権
- 撮影者としてのモラルやエチケット

撮影にあたって

## 「肖像権」

1. 「人格権」の一部としての肖像権  
人格権の一部としての肖像権は誰にでも認められる権利  
( 人格権侵害や名誉毀損等で訴えることも )
2. 財産権である「パブリシティ権」としての肖像権  
有名人やキャラクタなどの肖像が経済的利益や価値をもたらすことに着目した権利

肖像権とは

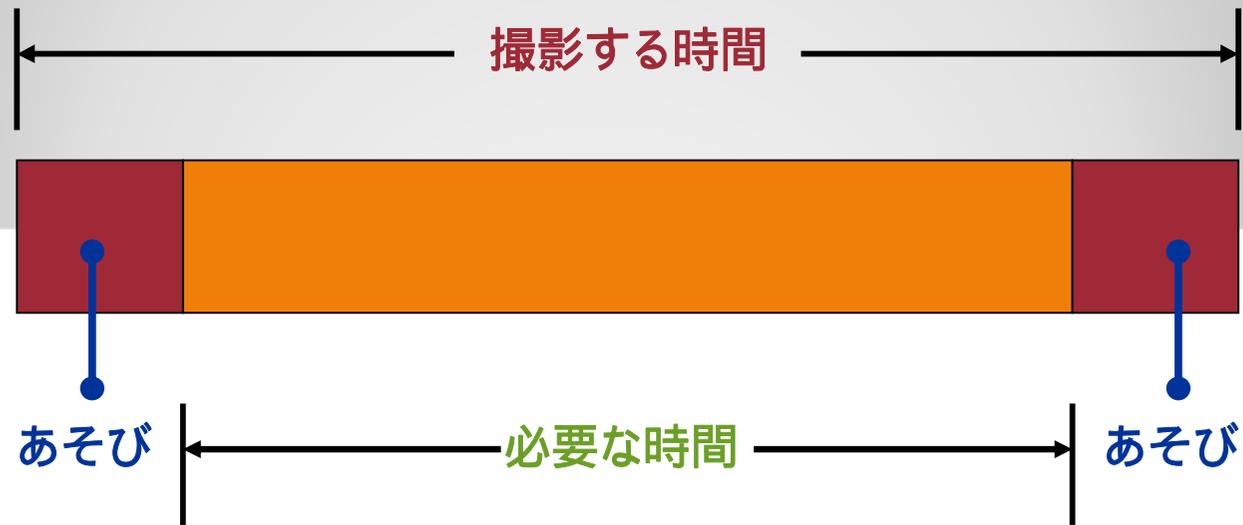
- 他人に迷惑をかけたたり不利益を与えたりしないようにするための基準

例)

- 撮影禁止場所での撮影
- 撮影補助光（ストロボ光）が他者の迷惑になる恐れがある場合
- 対象の人が負担を感じる撮影

撮影者としてのモラルやエチケット

- 必要なカットの前後に3～5秒ずつはさむ余分な映像



映像の「あそび」

- 手首をしっかり固定する（ぶれを防止）
- 撮影の明るさに注意
- サイズとアングルに気をつける
- ズーム・パンの機能

撮影のポイント